

# 大学院 スペシャルコンサート

## 洗足学園 前田ホール

2022年3月19日(土)開演 15:00 開場 14:30



石井 喜久子



井手上 達



松下 倫士



渡部 亨



岩本 伸一



大浦 綾子



二宮和弘



沼田 園子



荒 庸子



中 一乃



大野かおる



羽川 真介



赤塚 博美



岩崎孝昭



服部 容子



富田 慎平



松尾 祐孝



江崎 昌子



浦壁 信二

出演：上記教員及び各コース大学院生

### △新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでの飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

## 御挨拶

本日は大学院スペシャルコンサートにご来場いただきありがとうございます。

今年度の大学院主催コンサートの最後を飾るこのコンサートは、何と言っても一流の演奏家である教授陣と同じステージで演奏できるということでしょう。大学院生にとってこの経験は何にも代えがたいものであり、これまでの研鑽の成果を身を持って感じると共に、新たな目標を見つける大きな機会になることと確信しています。

新型コロナウイルスの蔓延から2年目となる今年度も、大学院生の皆さんは色々な意味で不自由な生活を余儀なくされたことと思いますが、その不自由を乗り越えて一人ひとりが自らの目標に向けて研鑽を続けてくださったこと、そして無事に本日のコンサートを迎えることができたことを大変嬉しく思います。

本日お越しの皆様には、大学院生と教授陣による夢の共演を最後までごゆっくりお楽しみいただきたくお願い申し上げます。

洗足学園音楽大学学部長・大学院研究科長 小嶋貴文

## PROGRAM

### 打楽器コース

★西原 大樹 / Sanctuary (サンクチュアリー)

★Casey Cangelosi / Jazz on Saturn (ジャズオンサターン)

### 管楽器コース

★C.サンサーンス / 「死と舞踏」

★C.サンサーンス / 「動物の謝肉祭」より、化石・白鳥・終曲

### 弦楽器コース

★O.レスピーギ / リュートの為の古風な舞曲とアリア第三組曲

### 休憩

### 電子オルガンコース

★渡辺 俊幸 / Hymn to Forests and Earth～森と大地への讃歌

### 声楽コース

★G.ヴェルディ / オペラ『椿姫』“ヴァレリーさんですか？”

★G.ドニゼッティ / オペラ『ランメルモアのルチア』より“裏切られた父上が”

### 和楽器

★松尾 祐孝 / ≪呼笛悠遊≫ Koteki Yuyu(2022/初演)

### ピアノコース

★S.ラフマニノフ / 組曲 第2番 作品17より 4.タランテラ

★G.ビゼー(マック・ウィルバーグ編曲) / カルメンの主題による幻想曲 (2台8手編曲)

## 打楽器コース

西原 大樹 / サンクチュアリー Sanctuary

Casey Cangelosi / ジャズ オン サターン Jazz on Saturn

## 演奏

青柳 はる夏(院 1) 大西 悠斗(院 1) 越中 亮太(院 1) SUN MUQING(院 1)

石井 喜久子(教員)、井手上 達(教員)

### 曲目解説

西原大樹 / サンクチュアリー Sanctuary

打楽器奏者としても知られている西原大樹による作品で、「Sanctuary」とは聖域という意味である。木の温もりを感じさせるマリンバ、多彩な表情をみせるヴィブラフォン、明るく澄んだ音色のグロッケンシュピールが織りなす優しく美しい響きをお楽しみください。

Casey Cangelosi / ジャズ オン サターン Jazz on Saturn

作曲者のケーシー・カンジェローシはアメリカ生まれの打楽器奏者であり作曲家で、打楽器ソロやアンサンブルの為の作品を多数出版している。その発想の豊かさと視覚的な面白さから絶大な人気を集めている。本日は、太鼓やシンバル、小物打楽器を使い、変拍子の小気味良いアンサンブルが繰り広げられる。

石井 喜久子

## 管楽器コース

### C.サンサーンス / 「死と舞踏」

#### C.サンサーンス / 「動物の謝肉祭」より、化石・白鳥・終曲

##### 管楽器コース出演者

指揮・編曲・・・松下 倫士(教員)  
フルート・・・府川 悠理(院2) 山崎 春奈(院2) 吉村 由望(院2) 石井 優菜(院1)  
間木平 美和(院1) 村松 紀親(院1) 渡部 亨(教員)  
オーボエ・・・河村 真歩(院1)  
クラリネット・・・元村 理乃(院1) 大浦 綾子(教員)  
サクソフーン・・・五十嵐 蓮(院2) XIAO QIANYI(院2) 清 達哉(院1) 岩本 伸一(教員)  
二宮 和弘(教員)  
トランペット・・・國米 晴貴(演奏補助)  
トロンボーン・・・望月 稜香(院2)  
ホルン・・・中津 里菜(演奏補助)  
ユーホニアム・・・丸山 奈央(院1)  
打楽器・・・青柳 はる夏(院1) 大西 悠斗(院1) 越中 亮太(院1)  
ピアノ・・・齋藤 光(伴奏要員)

##### 曲目解説

#### C.サンサーンス / 「死と舞踏」

サン=サーンスによる4つの交響詩のうち、3曲目に作曲された。中世ヨーロッパにおいて人々の生活に甚大な影響をもたらした伝染病、ペストの惨禍をモチーフにしている。真夜中に墓地で繰り広げられる死神たちの狂宴は、オーボエによる雄鶏の鬨の声になるまで続く。そこには『死という冷たい事実の前に身分の差はなく皆平等である』というメッセージ性が感じられる

#### C.サンサーンス / 「動物の謝肉祭」より、化石・白鳥・終曲(松下 倫士編曲)

動物の名を付けられた14曲の小品からなる組曲である。本日演奏する「化石」には「死の舞踏」の旋律や、モーツァルト/きらきら星、ロッシーニ/セビリャの理髪師の一部など、幾度となく演奏されてきた曲を“化石”と皮肉する、サン=サーンスのユーモアが垣間見られる。

本学講師 松下倫士の編曲で演奏する。

府川 悠理

## 弦楽器コース

### O.レスピーギ / リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲

#### O.Respighi / Antiche Danze ed Arie per Liuto III. suite

##### 弦楽器コース出演者

ヴァイオリン・菅野 稚子(院2) 高橋 沙織(院2) 成田 叶(院2) 瀧 萌香(院2)  
        宍戸 育実(院1) 沼田 園子(教員) 中 一乃(教員)  
ヴィオラ・・・チョウ イチン(院2) 加藤 可奈子(院1) 工藤 海青(院1) 大野 かおる(教員)  
チェロ・・・荒 庸子(教員) 羽川 真介(教員) 原 美月(演奏補助) 大友 美侑(演奏補助)  
コントラバス・平木 晶穂(演奏補助) 遠藤 加奈子(演奏補助)

##### 曲目解説

#### O.レスピーギ / リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲

レスピーギは、「ローマ三部作」と呼ばれる一連の交響詩で有名だが、これらの作品に勝るとも劣らぬ魅力で、現在でも多くの人々に愛されているのが、今回演奏するこの「リュートの為の古風な舞曲とアリア」である。15～16世紀のリュート音楽を基に書かれており当時の和声構造を深く研究し、また彼自身が弦楽器に精通していたこともあり、原曲が持つ香り高い気品を保ったまま、美しい曲に仕上がっている。

宍戸 育実

電子オルガンコース

## Hymn to Forests and Earth～森と大地への讃歌

渡辺 俊幸 作曲

演奏

WANG WENHAO オウ ブンコウ (院 2)

DENG RUOHEN トウ ジャクコウ (院 2)

岩崎 孝昭 (教員)

赤塚 博美 (教員)

### 曲目解説

Hymn to Forests and Earth～森と大地への讃歌 / 渡辺 俊幸 作曲

Senzoku Gakuen Presents 「作曲家の祭典 2016」において初演された管弦楽曲である。“Prayer”のアルバムのライナーノーツでは、森と大地への感謝と愛をこめて作曲したと解説している。今回は、作曲家本人の許可を得て、電子オルガンで“渡辺俊幸の世界”を表現したいと思う。

赤塚 博美

## 声楽コース

G.ヴェルディ/オペラ「椿姫」より “ヴァレリーさんですか？”

G.Verdi 《La Traviata》～Madamigella Valery?

出演

ヴィオレッタ 渡辺 華子 (院2) ジェルモン 川田 直輝 (演奏補助)

ピアノ 服部 容子 (教員)

G.ドニゼッティ/オペラ「ランメルモアのルチア」より“裏切られた父上が”

G.Donizetti 《Lucia di Lammermoor》～Sulla tomba che rinserra～

出演

ルチア 長島 彩 (院2) エンリーコ 尤 攀 ユウ・ハン (院2)

ピアノ 服部 容子 (教員)

曲目解説 G.ヴェルディ/オペラ「椿姫」より “ヴァレリーさんですか？”  
《La Traviata》 Madamigella Valery?

《椿姫》はG.ヴェルディによる歌劇作品。パリの高級娼婦ヴィオレッタは青年アルフレードと出会い、真実の愛を見つけ、過去を捨てて愛する人と新たな暮らしを始める。〈ヴァレリーさんですか？〉は、そんなヴィオレッタのもとへアルフレードの父親が現れ、息子と別れるようにと迫る場面である。

G.ドニゼッティ/オペラ「ランメルモアのルチア」より“裏切られた父上が”  
《Sulla tomba che rinserra》

《ランメルモールのルチア》はドニゼッティが作曲した悲劇である。〈Sulla tomba che rinserra〉は一族を破滅させた敵を憎しみながらもルチアへの愛を語り、結婚を誓い合うエドガルドとの愛の2重唱である。

柳澤 涼子

和楽器

松尾 祐孝 / <呼笛悠遊> (2022 新作)

Masataka MATSUO / Koteki-Yuyu

(2021 / world premiere)

和楽器 出演者

横笛：馮 蕊 FENG Rui (院2)

横笛：馬 新凱 MA Xinkai (院1)

和太鼓：富田 慎平 TOMITA Shinpei (教員)

曲目解説

松尾 祐孝<呼笛悠遊> (2022)

近年恒例となっている和楽器専攻新作初演プロジェクトの一環。  
二人の横笛奏者と和の打楽器奏者が、舞台上の移動を伴いながら、  
能舞台や禅寺の石庭を思わせるステージ音空間を創出する。  
視覚と聴覚の両面からお楽しみいただきたい。

(記：松尾 祐孝 / 作曲者・和楽器専攻主担当)



## ピアノコース

S.ラフマニノフ / 組曲 第2番 作品17より 4.タランテラ

S.Rachmaninoff / Suite No.2 Op.17 4.Tarantella

第1ピアノ 井坂美月(院1) 第2ピアノ 浦壁信二(教員) (2台4手)

G.ビゼー : M.ウィルバーグ編曲

カルメンの主題による幻想曲 (2台8手編曲)

G.Bizet : M.Wilberg(arr.) / Fantasy On Themes from Bizet's Carmen

第1ピアノ プリモ 林 菜月(院2) セカンド 田口 美優(院1)

第2ピアノ プリモ 江崎 昌子(教員) セカンド 高城 美希(院2)

### 曲目解説

#### ★組曲 第2番 作品17より 4.タランテラ

『組曲第2番』は、ロシアのロマンティシズムが随所に表現されており、ラフマニノフらしさがふんだんに盛り込まれている大変人気の作品である。4曲で構成されており、本日は4曲目のタランテラを演奏する。技巧を駆使して弾ききるスピード感をお楽しみ頂きたい。

#### ★カルメンの主題による幻想曲

スペインのセビーリャを舞台に、ジプシーのカルメンと衛兵ドン・ホセとの恋と悲劇を描いたオペラ「カルメン」。ビゼーが作曲したこの傑作を本日はウィルバーグが2台8手用に編曲したものを演奏する。「第1幕への前奏曲」や「ハバネラ」等の旋律が、現代曲風の不協和音を伴いながら現れる作品である。

鳥羽瀬 宗一郎